

民泊体験 2026年概要書

■タイトル：民泊体験

地域のありのままの生活を感じてもらう「暮らし体験」を目的としているため、農林漁業の一次産業者や民宿を営む方、商工関係者など様々な家庭で受け入れをしております。2011年の東日本大震災により家族や住む場所があることの大切さを身を以て知りました。前を向いて生きる町民との交流は、子ども達にとってかけがえのない時間になるでしょう。

■民泊体験とは？

この地域の普段のありのままの生活を体験します。家事やお仕事を手伝いながら、初対面の家族でも一日を共に過ごすことで、家族の温もりを感じてもらえるのがこの民泊です。東日本大震災により、命があり家族が居る、そして住む場所があることの大切さを知りました。きっと皆さんにとってかけがえのない時間となり、さらにこの町の人を好きになってくれることでしょう。



■料金

- ・【1泊2食】基本ステイ(15時～翌10時)/1名9,460円(税込)
 - ＋午前滞在(10時～12時)/1名1,650円(税込)
 - ＋昼食(12時～13時)/1名1,100円(税込)
 - ＋午後滞在(13時～15時)/1名1,650円(税込)

※傷害保険1名207円で加入することが出来ます。

■定員・規模：1家庭3～6名※最大30名まで(時期や予約状況により変動)

■期間：通年(年末年始・3月11日以外)

■服装：動きやすく、汚れても良い服装、履きなれた運動靴

■持ち物：

- ・大きなバッグ(荷物を全部入れる用)

※キャリーケースではなく、スポーツバッグタイプをおすすめします。

- ・リュック(体験活動・移動用)
- ・タオル(お風呂・汗拭き用)
- ・着替え(洋服、靴下・下着、パジャマ)
- ・洗顔、歯磨きセット
- ・エプロン、三角巾(食事のお手伝いやお料理体験の時に使います)

■あったらよいもの

- ・(夏)帽子、日よけ対策、虫よけスプレー
- ・(冬)防寒具(マフラー、手袋、ニット帽など)
- ・雨具
- ・常備薬(絆創膏などの救急セットは各家庭にあります)
- ・ハンカチ、ティッシュ
- ・筆記用具

■家でのルール

- ・民泊体験中は、南三陸町の家族の一員としてお迎えします
- ・あいさつや返事をするこ、行儀良く、礼儀正しく過ごしましょう
- ・家事はすすんでお手伝いをしましょう(布団の上げ下げ、食事の片付け、部屋の掃除)
- ・お風呂に入るときは家族のことを考え、短く入りましょう(2人一緒か早く上がる)
- ・大切なのは元気な会話。お話をしながら仲良く楽しく過ごしましょう
(ゲームや漫画、携帯電話やスマートフォンをしない)

■安全・健康に過ごすために

*お家の中で

- ・食べ物や動物などのアレルギーがある場合は、必ず最初にお家の人に伝えましょう。
- ・体調が悪くなったり、困ったことがあったときは、遠慮せずお家の人に伝えましょう。
- ・外から帰ったときや、お食事の前には必ずうがい手洗いをしましょう。
- ・睡眠不足にならないよう、夜は早めに寝ましょう。

*お家の外で

- ・危険がないように、お家の人注意をよく聞き、守りましょう。
- ・農具や漁具を使う時は、説明をよく聞き、正しく使いましょう。
- ・車ではシートベルトを必ずしましょう。
- ・駐車場内や車を乗り降りする時には、周りをよく見て、十分注意をしましょう。



■関連するSDGsのゴール

- ・8.働きがいも経済成長も
- ・11.住み続けられるまちづくりを
- ・12.つくる責任つかう責任
- ・17.パートナーシップで目標を達成しよう

